東青地域県民局

青森市 | 平内町 | 今別町 | 蓬田村 | 外ヶ浜町

これまでの取組の成果

半島と岬を巡る「One　Story」旅とオリジナルグルメ開発による誘客促進

東青地域の特徴的な地形（夏泊半島・津軽半島とその岬）を活かし、管内の新幹線駅（新青森駅及び奥津軽いまべつ駅）を中心に、夏泊半島、津軽半島を巡る総合観光パンフレットをそれぞれ作成しました。また、管内５市町村の特産品を使用した５種類のオリジナルアイスクリームを開発し、道の駅や洋菓子店等で試験販売しました。

夏泊半島・浅虫温泉 総合パンフレット

津軽半島 総合パンフレット（津軽海峡・陸奥湾沿岸地域）

家族で実践する健やか力向上事業

管内の働き盛り世代の健やか力向上につながる取組を推進するため、農業・漁業従事者を中心に、当事者や家族のアイディアを取り入れた健康づくりメニューを作成したほか、管内小学5年生を対象とした食育実習を行い、栄養に焦点を当てた親子で取り組む健康習慣の啓発を図りました。

2022年度の取組

5事業/2,134万円

東青観光プロモーション事業

旅行先としての東青地域の認知度向上を図るため、インスタグラムキャンペーンを実施します。また地域資源を活かしたプログラム等を構築し他地域との差別化を図るほか、地域と連携したプロモーションを展開します。

東青地域新規就農サポート強化事業

農業を生業とした地域定着を図るには、新規就農者の農業所得確保が重要であるため、就農希望者を対象とした資質向上に向けたセミナーを開催するほか、支援体制強化に向けた東青地域新規就農者支援会議の開催、受入農家対象の意向調査や研修等を実施します。また、営農指南書の作成や研修・交流会、販売力向上のための模擬商談会等を実施し、新規就農者のスキルアップを図ります。

その他の取組　| 「移住者と創る」東青地域づくり促進事業 | 東青地域ナマコ種苗生産体制構築事業 |

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ ひらないジョブタウン（平内町）

▲職業体験「消防士」　▲職業体験「医師」

中南地域県民局

弘前市 | 黒石市 | 平川市 | 西目屋村 | 藤崎町 | 大鰐町 | 田舎館村

これまでの取組の成果

高校生を主役に地域資源を活用したビジネス創出と地元愛着意識を形成

高校生が地元に愛着を持ち、かつ、弘南鉄道沿線の地域活性化を図るため、沿線高校生と地元事業者が連携し、商品名やPR方法などを考え、実際に新商品の開発やSNS等による情報発信などに取り組みました。また、弘南鉄道を舞台として、ダンスやバンド演奏などのパフォーマンス披露などを行う文化祭を開催しました。

文化祭の様子

産地直売施設を核とした地産地消の推進と地域の活性化

地産地消の推進と地域の活性化を図るため、産直協議会が主体となり、店舗の認知度向上に向けた、産直マップの作成や地域ＦＭ放送によるＰＲ、各店舗を周遊するスタンプラリーの開催、人手不足で品物の調製作業に手が回らない生産者に代わり、福祉施設利用者が袋詰め作業などを行う新たなモデルづくりに取り組みました。

産直の販売コーナー（左上）と福祉施設利用者の作業の様子（左下）、
地元ＦＭ放送での産直レポート（右上）、産直マップ（右下）

2022年度の取組

8事業/3,095万円

地域の暮らしを支える元気拠点中南モデル育成事業

日用品の購入に支障が生じている地区をモデルとして、無人販売で日用品を購入でき、人が集まり会話が弾む場所を育成することで、持続可能な地域づくりに取り組みます。

「TSUGARUうるし」造成拡大推進事業

中南地域のうるし林造成を推進するため、りんご放任園等へのうるし植栽を推奨し、その実証林を整備します。また、うるし林の保育・更新技術を実証・普及することで、地域に適した保育技術の確立と既存うるし林の再生を目指すとともに、持続可能なうるし資源の利用や「TSUGARUうるし」のブランド化に取り組みます。

その他の取組　| 中南地域喫煙対策から始める働く人の健康づくり推進事業 | 「古津軽」ムーブメント創出事業 |

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ 弘前産りんご消費拡大戦略事業（弘前市）

▲県外スーパーでの弘前産りんごの販売

三八地域県民局

八戸市 | 三戸町 | 五戸町 | 田子町 | 南部町 | 階上町 | 新郷村

これまでの取組の成果

地元企業の調査をきっかけとした人財定着の促進

高校生が地元企業を調査し、社員の暮らしや仕事について学んだほか、調査後に三八地域の魅力を共有するためのワークショップを実施し、人財の定着促進に取り組みました。また、調査及びワークショップを通して自分たちで見つけた魅力を高校生が主体となってe-bookにまとめ、三八地域や全国に向けて発信しました。

地元企業での調査の様子

ICTを活用した肉用牛経営の収益性向上

肉用牛繁殖経営の収益性向上のため、新郷村をモデル地区として、雌牛の種付状況や子牛の生産履歴などの個体情報について、行政機関・獣医師等で共有できるデータベースを構築し、巡回指導を通じて繁殖成績向上に取り組んだほか、研修会を開催しICTを活用した繁殖管理技術を普及しました。

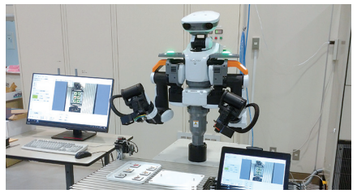
データベースを活用した農家巡回

2022年度の取組

9事業/3,720万円

協働ロボットを活用した三八地域ものづくり企業支援事業

三八地域のものづくり企業の生産性向上を目的に、協働ロボットの活用・普及促進に取り組むための検討会を設置し、製造業界全体の機運醸成を図ります。また、ロボット専門人財の育成やロボットシステムのモデル構築による導入促進に取り組みます。



三八地域・職域連携で働く人の健康づくり推進事業

圏域の専門職と連携し、三八地域の事業所への個別訪問や健康課題の実態を把握することで効率的・効果的な健康づくりに取り組みます。特に市町村と協働することにより、職域との連携体制を構築し、健康経営事業所の増加と働き盛り世代の健康づくりを推進します。

その他の取組　| 三八にんにく産地ステージアップ事業 | 地域の力で磨く三八の新しい旅行スタイル構築事業 |

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ 東日本大震災復興10年企画 種差海岸魅力発信事業（八戸市）

▲ガイド付きで三陸ジオパークを巡る　▲冬の種差海岸をトレッキング

西北地域県民局

五所川原市 | つがる市 | 鰺ケ沢町 | 深浦町 | 板柳町 | 鶴田町 | 中泊町

これまでの取組の成果

未来をつくる西北型水田農業強化事業

大区画整備事業等が進むなか、高齢化や労働力不足に対応した西北型水田農業の強化を目的として、「スマート農業」や「水稲＋高収益作物の複合経営」に取り組んだところ、ロボット田植機やドローンをはじめとしたスマート農機の導入や水田でのブロッコリーの新規作付が進みました。

固定基地局の電波を活用した無人ロボット田植機の実演

西北地域を楽しむコミュニティ育成事業

移住者や若者らのコミュニティ活動を促し、「残りたい」「帰りたい」地域につなげるため、先輩実践者を招いた交流会と、そこから出た6提案を深掘りするワークショップを開きました。延べ100人超が参加し、3プロジェクト（太宰が飲んだりんご酒再現、縄文PRイベント開催、シロバナタンポポ保全）の実証に取り組みました。

大勢の若者や移住者が集まった「奥津軽わげもの会議」

2022年度の取組

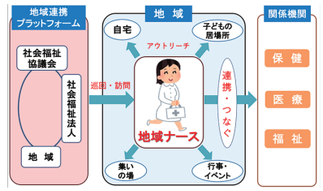
8事業/3,495万円

西北の鉄旅コンテンツ創出事業

西北地域の観光コンテンツとして期待される【津軽鉄道・ＪＲ五能線】を活かし、鉄道ファン向けのツアーやサービスの実施や、ユーチューバー、観光アテンダント等が一体となった情報発信を行うことで、更なる誘客の促進を図るとともに、地元鉄道への誇り、愛着を育みます。

社会福祉法人による「青森県型地域共生社会」西北モデル強化事業

多様な担い手の確保や育成、持続可能な地域づくりを推進するため、福祉・介護人財の確保・育成支援、地域の健康と暮らしを守る地域ナース活動に取り組みます。



その他の取組　| アウトドアの聖地「奥津軽」構築事業 | 西北地域の未来をつくるデジタル人財育成事業 |

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ 世界遺産登録記念事業（つがる市）

▲北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録決定を祝うパブリックビューイングの様子　▲市内の園児・小学生を対象とした土器づくりの体験講座の様子

上北地域県民局

十和田市｜三沢市｜野辺地町｜七戸町｜六戸町｜横浜町｜東北町｜六ケ所村｜おいらせ町

これまでの取組の成果

持続可能な上北地域づくりを支える行政職員の育成

人口減少や少子高齢化が進む中、「地域づくり」は地域の福祉・防災・教育・活性化・環境等、様々な分野で重要なテーマとなっています。住民の「地域づくり」を支えられる環境整備に向けて、地縁組織の現状整理や「若い世代の参画」を切り口とした学びの場を創出し、行政職員の活動支援への理解を深めました。

上北地域づくり勉強会

ゲノミック評価を活用した高能力雌牛の生産体制構築

ゲノミック評価（遺伝子を調べて能力を推定するもの）を活用した能力の高い雌牛の生産実証に取り組んだほか、講習会により、生産者等にゲノミック評価の有効性を伝え、活用を働きかけました。その結果、生産者等の理解が深まり、一部市町村や農協ではゲノミック評価を実施する農家への支援策を講じています。

子牛の発育調査

2022年度の取組

7事業/2,594万円

上北の強みを生かしたマイクロツーリズム推進事業

首都圏及び海外の旅行動向に左右されない観光需要の獲得のため、上北地域管内の多様な観光資源を活用した「マイクロツーリズム」の推進により、県内や近隣県の観光客が繰り返し訪れる観光地づくりなどに取り組みます。

上北の森から木造公共建築物普及推進事業

上北地域で生産された原木を、上北地域の工場で加工し、上北地域の公共建築物に利用する「木材の地産地消」に向け、市町村、建築士、製品供給者を参集した連絡体制を構築するほか、木材について深い知識を有し、木造化を推進するアドバイザーを養成します。

その他の取組　｜上北若者ネットワークを活用した人・地域・仕事の繋がり構築事業｜新たなステージを目指す「かみきた産直」チャレンジ事業｜

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ 木育による子育て支援事業（六ケ所村）

▲誕生祝い品『MY VILLGE』六ケ所村のストーリーを詰め込んだオリジナルの積み木

▲木育インストラクター養成講座 木の積み木を水に浮かべて遊ぶ様子

下北地域県民局

むつ市｜大間町｜東通村｜風間浦村｜佐井村

これまでの取組の成果

「夏秋いちご」産地を支える新規就農者の育成と産地力強化

新規就農者アドバイザーによる通年での相談体制の整備や耕作に適した農地のリスト化を進めたほか、栽培技術や経営管理能力等のレベルアップ研修会の開催、更にはネット販売手法の習得に向けた研修会等により、新規就農者の経営力が向上し、「夏秋いちご」の産地力強化が図られました。

レベルアップ研修会

下北地域の関係人口獲得に向けた取組

下北に愛着を持ち、つながり続ける人を増やすため、赴任者等を対象とした講座や高校生を対象としたワークショップなどを開催し、下北の魅力発見や郷土愛の醸成を図りました。また、市町村や地域づくりに携わる方々と連携し、関係人口獲得に向けた地域づくり活動の造成に取り組みました。

下北初心者講座の様子

2022年度の取組

7事業/2,184万円

下北の海で育てたマツカワの高品質出荷推進事業

水産資源の変動に対応するため、新たな養殖魚種として期待される「マツカワ」を高品質出荷するため、水揚前の給餌調整や水揚時の処理技術を検討するほか、出荷先のニーズに対応した一次加工技術の開発や、下北地域の新たな観光資源となる料理メニューの開発に取り組みます。

下北のヒミツ深掘りコンテンツ開発事業

観光利用が十分に図られていない観光資源について、アドバイザーの招へいや関係者との協議により、新たな観光コンテンツとして磨き上げ、Webや雑誌で情報発信を行うことで、下北地域への更なる誘客や滞在時間の延長、観光消費の拡大を図ります。

その他の取組　｜地域でつながる下北子どもスマート事業｜下北の肉用子牛評価向上対策事業｜

市町村の人口減少対策への独自支援

2021年度の主な取組

▶ Try to overseas markets 推進事業（むつ市）

▲道の駅ばんだい（福島県）での市特産品の販売

▲地産地消プロモーションイベントの様子